

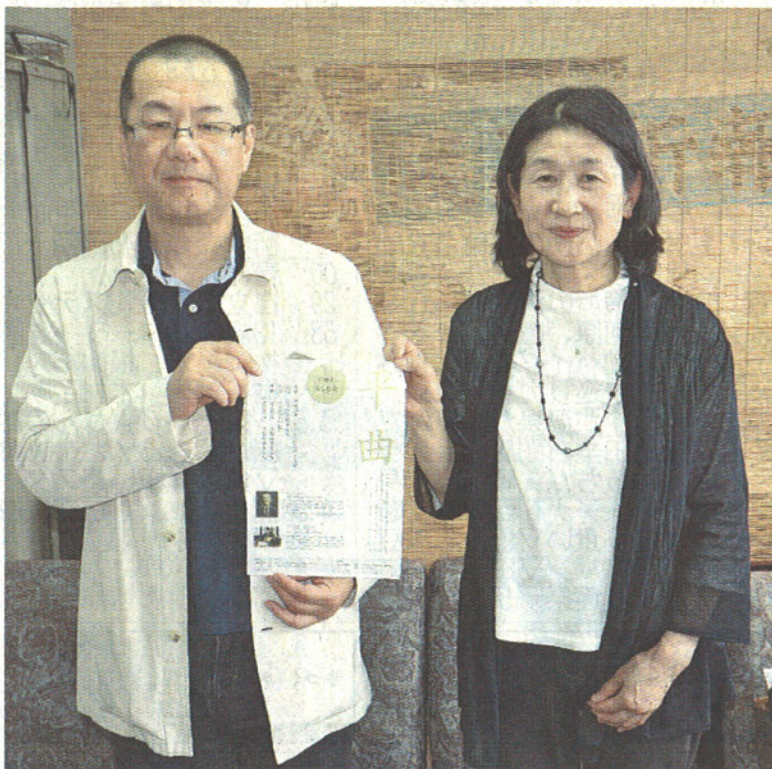
# 平曲の歴史つむいで

前田流平家詞曲相伝者新井泰子さん(63)＝埼玉県在住＝による公演会「平曲を楽しむ会」が7月2日午後2時から、弘前市の誓願寺本堂で開かれる。各地で平曲文化が衰退していった明治維新以後も、視覚に障害のない人が扱う平曲を守り伝えてき

た地が弘前とされ、新井さんは弘前の平曲の流れをくむ一人。弘前での平曲文化の振興、後継者育成を目指し「弘前の地が日本音楽の礎の一つである平曲を残したことを伝え、地元が歴史をつむいでくれば」と話した。(一戸崇矢)

相伝者の「再び浸透を」意欲  
新井さん

来月2



「地元の人にこそ平曲の文化と歴史に興味、関心を持ってもらえば」とPRする新井さん(右)と小坂さん

平曲は琵琶の音に乗るを語る声楽曲。新井さん相伝者として国の無形文化遺産「平家物語」の詞章を継ぐ。新井さんは1992年、平曲文化財の指定を受けた。

弘前では江戸時代、勘定奉行だった楠美莊司が江戸で平曲を習い弘前藩の藩士たちに伝習したとされ、1859年に弘前藩の11代藩主津軽順承が宗匠麻岡検校から平曲大秘事の相伝を授かるなど平曲に力を注いでいた。

大きくな

深浦 児

深浦町の修道小学校と認定こども園柳田保育園の児童・園児たちが20日、同町の大童子川でヤマメの稚魚放流体験を行い、「大きなサクラマスになって戻



職人(左)から説明を受け、形成された製品に見入る生徒たち

## 手仕事の繊細さに刺激

弘工高 定時制  
ブナコ西目屋工場見学

弘前工業高校定時制課程は20日、生徒の職業観と勤労観の育成を図る目的で企業見学会を行った。1〜4年生34人が木工品製造会社ブナコ(本社弘前市)の西目屋工場を訪れ、手仕事の繊細な工程に刺激を受けた。

見学会は昨年まで学年別に行っていたが、今年初めて全学年合同で実施。生徒は3年時に入社して、機械・電気コースを選択することから、各コースに関連する同工場と西目屋村の

津軽ダムを2カ所見学地とした。生徒たちは2班に分かれて工場を巡回。ティッシュボックスケースやランプシェードの巻き上げや形成、やすり掛けといった手作業を見学した。

(石田紅子)

あのまち このまち

地域ワイド